平成16年6月2日

連　絡　先
農水商工部水産室
室長　　　津田　平蔵
水産振興グループ
担当者　　竹内
電話　059-224-2584

資料提供について

1　報告事項

コイヘルペスウイルス病でへい死したコイの発見（揖斐川）について

2　要　　旨

５月２７日に国土交通省中部地方整備局木曽川下流河川事務所職員が桑名市赤須賀地内の揖斐川で採取したコイのへい死魚１尾について、県水産研究部で６月１日にコイヘルペスウイルス（ＫＨＶ）の陽性反応を確認後、独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所（南勢町）に確定診断を依頼していたところ、６月２日にＫＨＶ病によるへい死と確定しました。

なお、木曽三川では長良川に続き２例目です。

3　報告内容

(1)５月２７日に国土交通省中部地方整備局木曽川下流河川事務所から桑名市赤須賀地内の揖斐川で５尾コイのへい死魚を発見した旨連絡があり、そのうち検査可能なへい死魚１尾を県水産研究部でＫＨＶ病の検査を実施した結果、6月１日に陽性となりました。

(2)６月２日に独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所に確定診断を依頼していた結果が判明し、ＫＨＶ病と診断されました。

(3)なお、現在までに県内の揖斐川で発見されたコイのへい死魚は以下の通りです。

５月２７日　右岸３．６キロ赤須賀５尾（うち１尾検査）含む１２尾
５月２８日　左岸６．２キロ伊勢大橋上流２０尾
５月３１日　右岸８．０キロ伊勢大橋上流８尾含む１０尾
６月　２日　左岸６．２キロ伊勢大橋上流３尾含む８尾
現　計　　５０尾

(4)また、へい死の発生場所や感染経路については、今のところ不明です。

(5)本病はコイ特有の疾病で他の魚や人に感染することはないため、仮に感染したコイに人が触ったり、食べたりしても人体に影響はありません。

4　今後の対応方針について

まん延防止を図るため、三重県内水面漁場管理委員会と連携して、河川からのコイの持ち出し禁止や放流の制限等について検討します。